



(子どもからの年賀状)

私たち青い鳥の会は、毎月、日野市内にある東京都七生福祉園を訪れて、児童寮の子どもたちと共に、絵本の読み聞かせや短いおはなし、工作あそび、手遊びやうた遊びを楽しんでいるグループです。すてきな絵を描いてくれる仲間や子どもたちに贈り物を手作りしてくれる方もいます。ささやかな会を41年続けてきましたが、コロナ禍となり、昨年の2月以降、園の児童寮内には立ち入ることができなくなりました。私たちはもう2年近く、子どもたちと会うことができなくなっています。こんなことは初めてです。

毎年12月は、人形劇やエプロンシアターの方々に入ってもらってにぎやかにクリスマス会を催すのですが、昨年はできないまま年を越しました。でも子どもたちから今年のお正月に年賀状が届いたのです。1年ほど会うことができなかったので、とても嬉しくお返事をしようということになりました。都内や八王子在住の仲間もいるので、なかなか全員が集まることも難しく、メールやLINEなどで連絡をしい、郵送で集めて、仲間みんなからのお返事を届けました。寮内の壁に貼って、見て楽しんでもらえたらと願って。

春になって暖かくなったら、感染者数も減って、活動再開できて、子どもたちに会えるのではと期待しましたが、緊急事態宣言は延びに延びて、夏になっても、コロナはいつにおさまる気配がなく…。

そこで、夏休みも園で生活する子どもたちに、プレゼントをしようということになりました。今度は一人ひとりにひとつずつのプレゼントにしようと話しました。一人ひとりにあてた短いお手紙や、折り紙、遊べる工作品、かわいいシールや文房具や手作りのミニ絵本などを、小さな箱に入れて、リボンをかけて、七生福祉園児童寮に届けました。

(ミニ絵本は出版社の案内などを切り抜いて作ったものです)



秋も深まり、感染者数が激減し、人も増えつつある様子です。学校などでのボランティア活動は始まっていますが、病院や高齢者施設などの規制はまだ緩和されていません。七生福祉園の寮内への立ち入りもまだ無理のようです。今年のクリスマス会もできないと思います。クリスマスカードや年賀状を送りたいと思います。来年は、子どもたちの顔を見て、絵本を読んだり、手遊びをしたり、そんな時間が来ることを心から願うばかりです。

(文責 田沼)

仲間から

私が読み聞かせに関心を持ったきっかけは、退職後、日野市主催の読み聞かせ講座に参加したときです。その後、青い鳥の会の活動を知り、参加するようになりました。はじめは絵本を選んでいただいていたのですが、自分でも絵本を選ぼうと思い、新聞の絵本紹介欄を見ては、市立図書館で借りるようになりました。青い鳥との出会いがなかったら絵本に関心がなく、読み聞かせの喜びを体験できませんでした。七生福祉園の子どもたちの笑顔がとても楽しいです。コロナが早く収束して青い鳥が一日も早く再開する日を心待ちにしています。(みっちゃん)

七生福祉園の子どもたちとかかわって気がついたら、10年近くたちます。絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作など、初めはドキドキでした。でも子どもたちの驚きや、知ってるよ！アハハハ！ぼくも！わたしも！ハイッハイッハイッ！できたよ！たくさんの表情があって、そんな姿に毎回会うのが楽しみでした。そしてコロナで会えなくなっても、子どもたちからお手紙をもらったときは嬉しかったです。私たちも「元気でいてね」と手作りプレゼント、皆で書いた手紙など。会えない中で交流ができたのは嬉しく、大事なことと思えました。こういう活動が次世代に続いていきますようにと祈っています。(みいちゃん)

七生の子どもたちのためにたくさんのプレゼントを作ってくれる友だちがいます。私も七生の子たちに見てもらいたいと、ペープサートや人形を作りました。喜んでくれる子どもたちの笑顔を思い浮かべると不思議にアイデアが浮かびます。ありがとうございますと感謝の日々です。(えっちゃん)

私と子どもたちとのかかわりは、絵本の読み聞かせの合間に、皆で季節の歌と一緒に歌うという、ほんのわずかな時間ですが、かれこれ四半世紀も経ってしまったことに我ながら驚いています。毎回歌う歌は、今では教科書からも外されてしまっている唱歌や童謡です。おそらくは言葉が難しく理解が困難というのが、その理由と推察しますが、日本の名だたる詩人の言葉の美しさを、音として捉えるだけで十分ではないかと歌い続けています。メロディだけではなく、言葉そのものが音であり、それを子どもたちが敏感に感じてくれて、その喜びを共にすることがかけがえのない時間となりました。一日も早く取り戻したい！子どもたちの笑顔を思い出しては祈っています。(くみちゃん)

来春には絵本『わたしのワンピース』や『はなをくんくん』、『もこもこもこ』などなどを子どもたちと一緒に楽しみたいなあ。おはなしの「ふたりのあさごはん」の“ねこのみけやはそのそばでおかかごはんをたべました”で笑いころげる子どもたち。毎年3月の雛飾り作り、また一緒に作りたいな。くみちゃんの「ひなまつり」の歌と一緒に歌いたいね。喜んでやってくれた手遊びの「みみずのたいそう」、みんな覚えていてくれるかなあ。(えみちゃん)

